

新医学系指针对応「情報公開文書」改訂フォーム

研究協力のお願ひ

昭和大学病院では、下記の臨床研究（学術研究）を行います。研究目的や研究方法は以下の通りです。この掲示などによるお知らせの後、臨床情報の研究使用を許可しない旨のご連絡がない場合においては、ご同意をいただいたものとして実施されます。皆様方におかれましては研究の趣旨をご理解いただき、本研究へのご協力を賜りますようお願い申し上げます。

この研究への参加を希望されない場合、また、研究に関するご質問は問い合わせ先へ電話等にてご連絡ください。

LDL 及び HDL 亜分画の脂質組成と臨床パラメーターの関連調査

1. 研究の対象および研究対象期間

2006 年 5 月から 2016 年 7 月までに LDL、HDL 脂質組成を測定された方

2. 研究目的・方法

研究背景：動脈硬化促進的に作用する Low Density Lipoprotein (LDL) や抑制的に作用する High Density Lipoprotein (HDL) には細かい分画が存在し、LDL の分画のうち、超悪玉コレステロールと呼ばれる小型高密度 LDL-コレステロールの増加は、大型 LDL コレステロールと比較して、心疾患の発症予知マーカーとして有用であることが明らかにされています。また、HDL の分画のうち HDL2-コレステロールは高中性脂肪血症やメタボリックシンドロームで低下することが報告されており、近年糖尿病の発症予知マーカーとしての有用性も報告されています。そのため、特に心血管疾患の発症リスクの高い糖尿病患者において、LDL や HDL 分画の脂質組成を細かく把握することが動脈硬化性疾患発症予防には重要ですが、その脂質組成に関連する患者背景やその増加を予測できる臨床的パラメーターについてはこれまでに十分に検討されていません。そこで、LDL や HDL 亜分画の脂質項目と臨床パラメーターとの関連性について検討することを本研究の目的としています。

研究期間

「医学研究科 人を対象とする研究等に関する倫理委員会」承認後、昭和大学病院長の研究実施許可を得てから 2021 年 12 月まで

3. 研究に用いる試料・情報の種類

調査項目：治療薬の情報（投与薬物、用法 用量、投与期間）、患者背景（年齢、性別、身長、体重、腹囲、既往歴、現病歴、併用薬、細小血管 大血管合併症、合併症の進展度）、臨床検査（血算、BUN、クレアチニン、eGFR、AST、ALT、 γ -GTP、総コレステロール、中性脂肪、HDL-C、アポ蛋白、MDA LDL-C、高感度 CRP、C ペプチド、尿アルブミン指数）、バイタル検査、ABI、頸動脈超音波、体組成データ、内臓脂肪 皮下脂肪面積

4. お問い合わせ先

本研究に関するご質問等がありましたら下記の連絡先までお問い合わせ下さい。

ご希望があれば、他の研究対象者の個人情報及び知的財産の保護に支障がない範囲内で、研究計画書及び関連資料を閲覧することが出来ますのでお申出下さい。また、試料・情報が当該研究に用いられることについて患者さんもしくは患者さんの代理人の方にご了承いただけない場合には研究対象としませんので、下記の連絡先までお申出ください。その場合でも患者さんに不利益が生じることはありません。

照会先および研究への利用を拒否する場合の連絡先：

所属：昭和大学医学部内科学講座糖尿病代謝内分泌学部門 氏名：長池弘江

住所：142-8555 東京都品川区旗の台1-5-8 電話番号：03-3784-8947（内線3505）

研究責任者：

所属：昭和大学医学部内科学講座糖尿病代謝内分泌学部門 研究責任者：長池弘江